

# 一般機器、半導体は「多忙」が40%台、見通しは半導体、精密機器が生産増、通信機器は生産減か。

当センターでは県内の主要発注先を対象に「外注ニーズ調査」を実施しました。受注活動の参考としていただくため、以下に調査結果の概要をお知らせします。なお、後半に掲載している「発注案件」の詳しい内容については、育成支援グループにお問合せください。

## 調査について

- 目的 県内主要発注企業の外注状況、下請企業に対する技術・加工等のニーズを把握し、下請取引紹介・あっせんの円滑化に資すること。
- 対象企業 岩手県内所在の発注を主とする登録企業 105社
- 調査方法 訪問によるヒアリング調査
- 調査時点 平成18年2月
- コメント 製造分野別では、回答企業が5社以下である「農林機器」「住宅関連」「その他」についてはコメント(解説)していない

## 生産状況

### (1) 現況

回答企業数105社の生産概況を生産品目総数294品目についてみると「多忙」とする品目が86品目で29.3%（前年度59品目20.4%）、「適正」が132品目で44.9%（前年度136品目で47.1%）、「余力あり」が76品目で25.9%（前年度94品目32.5%）となっており、前年度と比較して「多忙」が27品目8.9ポイント増加、「適正」が4品目2.2ポイント減少、「余力あり」が18品目6.6ポイント減少している。（図-1）

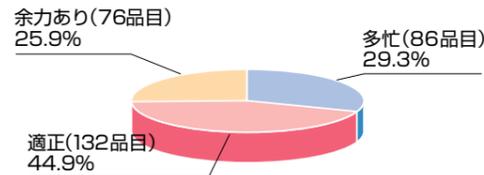
これを製造分野別にみると、「多忙」としているのは一般機器45.5%（前年度30.3%）、半導体43.8%（前年度15.8%）となっている。「適正」はOA機器が61.9%（前年度68.2%）で最も高く、次いで半導体56.3%（前年度73.7%）となっている。「余力あり」は、電気音響が57.1%（前年度63.2%）で最も高く、次いで通信機器48.3%（前年度53.8%）となっている。（図-2）

### (2) 見通し

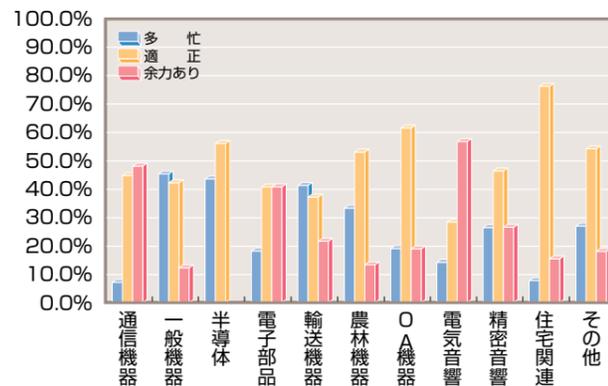
今後の見通しを生産品目総数294品目についてみると、「上昇」が73品目24.8%（前年度43品目14.9%）、「横ばい」が161品目54.8%（前年度161品目55.7%）、「減少」が60品目20.4%（前年度85品目29.4%）となっており、前年度と比較して「上昇」が30品目9.9ポイント増加、「横ばい」が同数0.9ポイント減少、「減少」が25品目9.0ポイント減少している。（図-3）

これを製造分野別でみると、「上昇」は半導体43.8%（前年度10.5%）で最も高く、次いで精密機器40.0%（前年度15.0%）となっている。「横ばい」は一般機器の72.7%（前年度77.3%）が最も高く、次いで電子部品54.5%（前年度45.8%）、OA機器52.4%（前年度59.1%）となっている。「減少」は通信機器41.4%（前年度42.3%）で最も高く、次いで電気音響34.3%（前年度44.7%）となっている。（図-4）

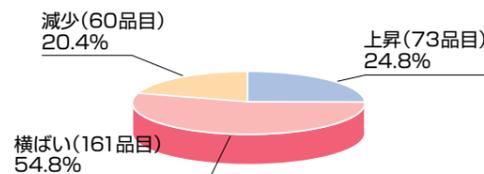
●図-1 生産品目でみる現況（合計294品目）



●図-2 製造分野別でみる現況



●図-3 生産品目でみる見通し（合計294品目）



## 外注状況

### (1) 外注企業数

回答企業105社が外注している企業数は3,500社（延べ数、以下同じ）あり、これを県内外別でみると、「県内」が1,172社で33.5%（前年度1,171社33.2%）、「県外」が2,328社で66.5%（前年度2,354社66.8%）となっており、県外外注が26社0.3ポイント減少している。（図-5）

これを製造分野別にみると、一般機器が756社で最も多く、次いで精密機器が494社、輸送機器が432社となっている。

さらに県内外別で県内外注の割合が高い製造分野は、半導体が125社で50.6%、電気音響が162社で46.8%となっている。

逆に県外外注の割合が高い分野は、精密機器が439社で88.9%と最も高く、次いでOA機器が261社76.3%、通信機器の195社74.7%となっている。（図-6）

### (2) 外注金額

回答企業105社の1年間での外注総額は、1,534億7,010万円（前年度は1,023億4,533万円）となった。

このうち県内外注は480億795万円（前年度701億8,273万円17.5%）、「県外」は1,054億6,215万円（前年度3,311億6,260万円82.5%）となっている。（図-7）

これを製造分野別でみると、県内への外注が多いのは半導体が46.6%と最も高く、次いで電気音響42.0%、輸送機器37.6%となっている。

一方、県外への外注についてみると、OA機器が87.9%で最も高く、次いで精密機器が85.6%、電子部品が81.9%、一般機器が79.5%となっている。（図-8）

## 外注している加工内容

回答企業105社が外注している加工内容をみると、メッキが79社75.2%と最も高く、次いで旋盤切削の62社59.0%、熱処理の54社51.4%となっている。（図-9）

加工内容別に外注先が県内なのか県外なのかをみると、県内はメカ組立が73.1%と最も高く、次いで設備メンテナンスの66.7%、機械ユニットの63.6%となっている。県外は冷間鍛造が100.0%と最も高く、次いでロストワックスの84.6%、粉末冶金の80.0%となっている。（図-10）

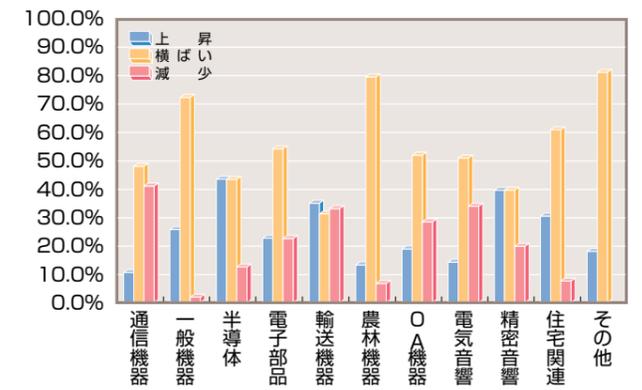
## 県内外注企業に対する要望

県内発注企業が県内外注企業に対する要望としては、「コストダウンへの対応力」が63社（60.0%）、「短納期化への対応力」が54社（51.4%）、「多種少量生産への対応力」42社（40.0%）、「管理体制のレベル」34社（32.4%）、「加工精度」31社（29.5%）となっており、上位5項目順位は昨年調査と同じになっている。（図-11）

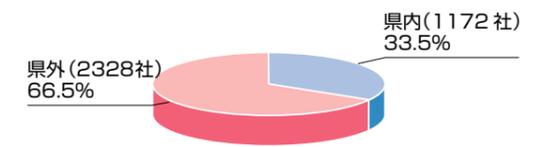
## 発注案件

調査対象企業に「現在、県内企業に発注できる案件があるか」、「今後、新たに生じる発注案件があるか」について質問した結果は、次ページのとおり。

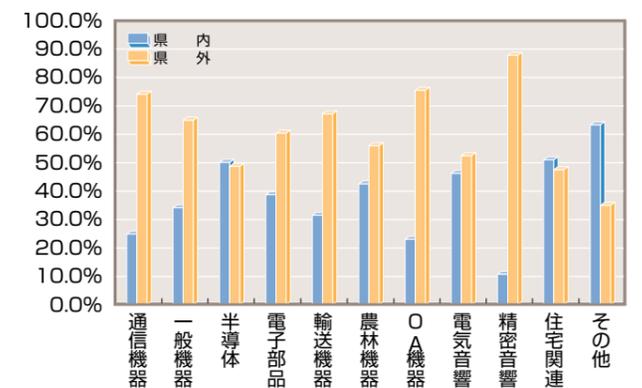
●図-4 製造分野別でみる見通し



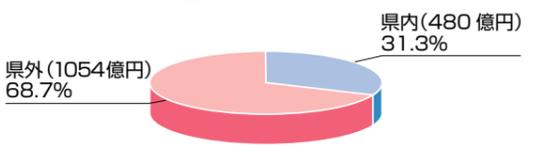
●図-5 県内外別外注企業数（合計3,500社）



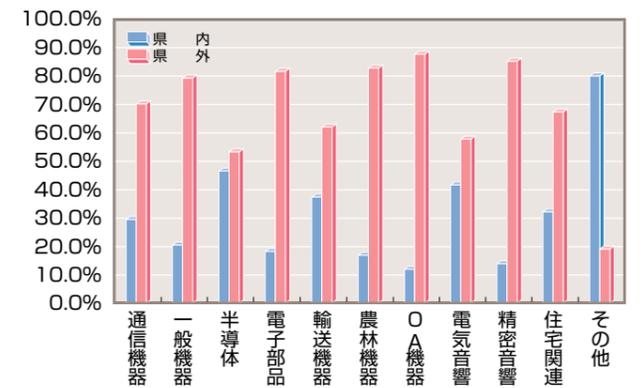
●図-6 製造分野別外注割合



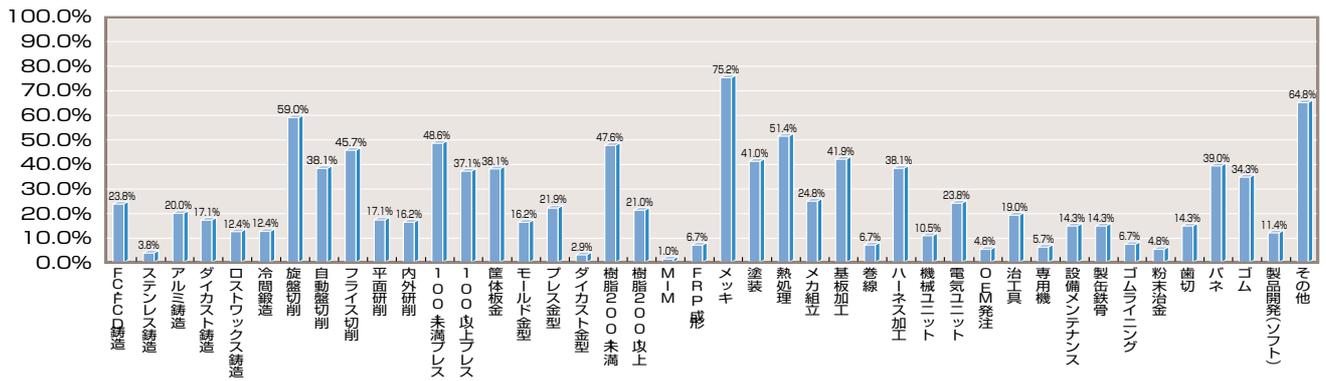
●図-7 県内外別外注金額（合計1,534億円）



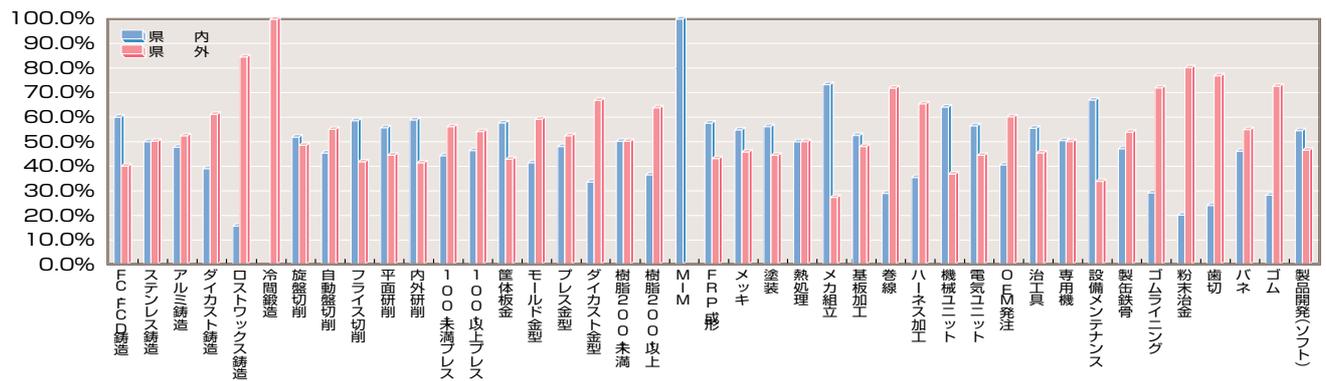
●図-8 製造分野別外注金額の割合



●図-9 加工内容別外注割合



●図-10 加工内容別県内外企業割合



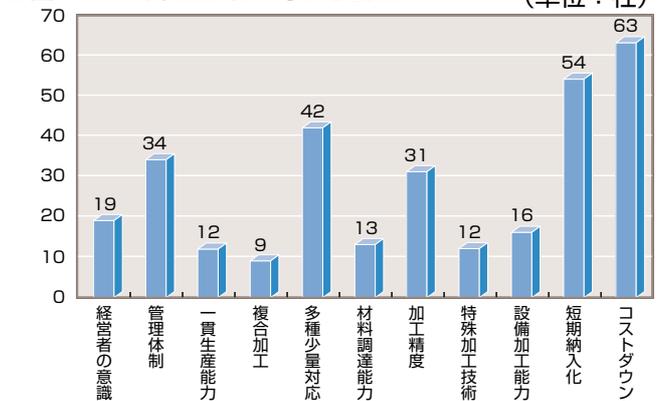
(1) 現在、県内企業に発注することが可能な案件

- フレーム加工/シャーリング/フライス/SS材/月10台
- プレス/樹脂成形/切削
- 筐体製作
- アルミ押出加工
- 燃線機部品/50~300φの旋盤・フライス加工、円筒研磨
- プレス金型製作
- スチール棒/焼付塗装まで
- 金型部品
- 制御盤配線
- 精密板金/抜き・曲げ・タップ・カシメ
- 旋盤加工/φ40、SUS、精度1/100、月50~100個
- 空圧機器/MC加工
- メッキ、レーザー加工
- タレパン、プレス、プレスブレーキ
- コネクター/プレス、モールド、金型、メッキ
- 印刷機部品/フライス、円筒研磨
- 螺子/メッキ
- ピストンリング/メッキ、切削、研磨、表面処理
- 挽物/30~50φ/アルミ
- 制御盤/板金、塗装、組立、配線
- NC旋盤部品/特殊研削加工
- パフ研磨
- ハーネス加工、切削加工
- 金属部品/フライス、マシニング
- 基板組立/実装~組立
- 半導体・液晶関連/切削

(2) 今後、新たに生じる発注案件

- 筐体製作
- ワイヤーハーネス部品、精密コネクタ/樹脂成形200t未満
- 治工具・金型パーツ加工
- 工場内電気工事
- 大型板金部材加工/板厚10~12ミリ、量産
- 空圧機器/MC加工
- 制御盤
- 超硬工具類
- ピン・シャフト/旋盤、フライス、穴あけ、研削
- 顕微鏡コントローラ組立
- 基板組立/実装~組立
- 設計、組立、切削

●図-11 外注企業に対する要望



●お問い合わせ先 育成支援グループ  
 TEL.019-621-5385 FAX.019-621-5480  
 URL <http://www.joho-iwate.or.jp/torihiki/>